

教科	介護総合演習	学科・学年	社会福祉科・3年	単位数	1単位
目標	1. 介護実習に必要な知識・技術を身につける。 2. スムーズに介護実習に入れるよう、記録物を準備し、目標や計画を立てる。 3. 適切な記録の方法や報告の技術を習得する。 4. 事例研究を通して課題解決の力を身につける。				
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・定期テスト などの状況を総合して評価する。				
評価観点	【関心・意欲・態度】 介護実習の準備や事例研究に主体的に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 介護実習における各自の課題を明確化し、解決を図ることができる。 【技能】 介護実習の目標や計画を適切に立てることができる。適切な実習報告ができる。 【知識・理解】 介護実習に必要な専門的知識を理解し、身につけている。				
使用教科書	介護総合演習（メヂカルフレンド社）				
使用副教材	なし				
月	学習内容	学習のねらい	学習活動		
4	0 授業ガイダンス 1 介護実習の意義と目的 2 実習Ⅰ・Ⅱの展開 3 介護実習の準備	☐ 介護総合演習における主な学習内容と目標を理解する。 ☐ 今年度の実習の意義と目的を理解する。 ☐ 介護実習の目標を立てる。 ☐ 今年度の実習内容を理解する ☐ 介護過程の展開を軸にした実習Ⅱにイメージを掴む。 ☐ 実習前に必要な記録物の確認と作成ができています。 ☐ 実習目標を立て、実習計画を立案する。	・講義 ・授業プリントの記入 ・実習日誌の作成 ・必要物品の準備		
5	4 情報交換	☐ 介護実習で学んだことを発表し、体験の共有を図る。	・演習		
6	5 調査・研究（個別援助計画の作成）	☐ 実習Ⅱで担当している利用者の介護過程について、進捗状況を報告する。 ☐ 文献等を活用し、アセスメントや個別援助計画立案に必要な事項を調べる。	・演習		
7	6 礼状作成	☐ 実習先への礼状を作成する。	・演習		
反省					

9	7 事例研究	☐ 実施した介護過程の展開をまとめる。	・ 演習
10	8 実習の評価	☐ 返却された実習日誌を整理する。 ☐ 実習報告書（次年度への申送書）を作成する。 ☐ 実習目的の達成度を評価する。	・ 演習
11	9 実習報告会	☐ 介護実習で学んだことを発表し、体験の共有を図る。	・ 演習
12	10国家試験対策Ⅰ	☐ 1・2年次に学んだ社会福祉の法制度について、その後の改正部分と現在の動向を把握する。	・ 講義／演習 ・ 期末テスト [点] ・ 自己評価 A ☐ B ☐ C ☐
反省			
1	11国家試験対策Ⅱ	☐ 国家試験に向けて、これまでの学習内容を総合的に理解する。	・ 講義／演習 ・ 学年末テスト [点] ・ 自己評価 A ☐ B ☐ C ☐
2			
3			
反省			